

FOCUS こがねい トークセッション

「おれたち小金井族」

岩井秀人 × 深田晃司

「小金井から生まれた2人の作家」

小金井にゆかりを持ち、各界の第一線で活躍する人とその作品に
スポットをあてるシリーズ『FOCUS こがねい』。

演劇界の第一線で活躍する劇作家・俳優・劇団主催者の岩井秀人と、
カンヌ国際映画祭「ある視点」部門の審査員賞を受賞した映画監督の深田晃司、
共に小金井市出身で親交のあるふたりが自身や小金井、芝居、映画を語る。

【日時】 2017年 3月 18日 (土)

14:00開始 (13:30開場)

【会場】 小金井 宮地楽器ホール 小ホール

【定員】 150名 (先着順受付) 入場無料・自由席

【申込方法】 お電話、当館窓口、メールにて下記必要事項をお知らせください。

※お申込みは、最大2名様までです。

- ①参加される方全員のお名前
- ②代表者のお電話番号
- ③代表者のご住所

【申込開始】 友の会 1月14日 (土) 10:00~

一般 1月28日 (土) 10:00~

お申込み・お問合せ

小金井 宮地楽器ホールチケットデスク (休館日: 第2・3火曜日)

TEL: 042-380-8099 (10時~19時)

E-mail: koganei-ticket@sps.sgn.ne.jp

〒184-0004 東京都小金井市本町6-14-45

主催: 小金井市民交流センター 指定管理者 こがねい(株)共同事業体



電車: JR中央線「武蔵小金井駅」南口駅前
バス: 小田急バス、関東バス、西武バス、京王バス
「武蔵小金井駅」下車徒歩1分

岩井 秀人 IWAI Hideto

劇作家・演出家・俳優・小説家。1974年生まれ。小金井第二小学校を卒業。現在も小金井市に在住。

2003年劇団ハイバイを結成。07年より青年団演出部に所属。東京であり東京でない小金井の持つ「大衆の流行やムーブメントを憧れつつ引いて眺める目線」を武器に、家族、引きこもり、集団と個人、個人の自意識の渦、等々についての描写を続けている。15年に『ヒッキー・ソートデテミターノ』が韓国で翻訳上演され国外からも注目されている。

12年NHKBSプレミアムドラマ『生むと生まれるそれからのこと』で第30回向田邦子賞、13年『ある女』で第57回岸田國士戯曲賞を受賞。映画『ゴッドタン キス我慢 THE MOVIE』『桐島、部活やめるってよ』『何者』など、俳優としても多数活躍。

深田晃司 FUKADA Koji

1980年生まれ。小金井市出身。小金井市立東小中学校を卒業。10代の頃から小金井福祉会館の市民上映会に通い、古典映画好きをこぼらせていく。大学在学中に映画美学校フィクションコース入学。長・短編3本の映画を自主制作した後、05年に平田オリザが主宰する劇団「青年団」の演出部に入団。06年、バルザック「人間喜劇」の中の一編をテンペラ画のアニメーションで表現した中編『さくろ屋敷』を発表し、パリ第3回KINOTAYO映画祭ソレイユドール新人賞を受賞。09年、長編映画『東京人間喜劇』(11年公開)を発表、ローマ国際映画祭、パリスネマ国際映画祭他に選出される。10年『歓待』(11年公開)が東京国際映画祭日本映画「ある視点」作品賞、プチョン国際映画祭最優秀アジア映画賞を受賞。13年『ほとりの朔子』(14年公開)でナント三大陸映画祭グランプリ&若い審査員賞をダブル受賞。15年『さよなら』(15年公開)が東京国際映画祭メインコンペティション選出。マドリッド国際映画祭ディアス・デ・シネ最優秀作品賞受賞。最新作『淵に立つ』で第69回カンヌ国際映画祭ある視点部門審査員賞を受賞。現在、インドネシアオールロケによる青春映画の準備中。